令和２年度

部 活 動 活 動　計 画

鹿沼市立東中学校

１　目　標

(1) スポーツや文化及び科学の活動を通して、自分自身を励まし、困難なことでもやり遂げたり、自らの意志、判断、責任で行動したり、課題や葛藤を部員同士で解決する経験を通して、生涯にわたり心身共に健康な生活ができるようにする。

(2) 異学年協働で活動する経験を通し、他の部員の個性を理解したり、自分の個性を発揮したりすることにより、連帯感の涵養を図る。

(3) これらの経験をすることで、主体的に考え学ぶための基礎を築き、学力向上の滋養を図る。

２　方　針

(1) 生徒自らの適性や目標に応じた部活動の経営に努める。

(2) 自ら考え学ぶための基礎を身につけ、各自の目標に向かって生き生きと粘り強く心身の成長を促す活動を行い、スポーツ活動や文化活動に取り組ませ、生涯学習に結びつける。

(3) 学校の目標をもとに、各部の指導方針を立て、部活動の経営を行う。その際、生徒指導主事、顧問教師、学級担任、学年職員間で生徒指導上の共通理解を図りながら活動を行う。

(4) 部活動を組織的・計画的・継続的に行い、教師と生徒・生徒相互の人間的な関わりを高める。

(5) 部活動を通して学年や学級と違った集団生活を経験させ、豊かで充実した学校生活につなげる。

(6) 顧問や学級担任は一人一人の特性を理解し、部活動を通した個性の伸長を図るとともに、学習意欲の向上や責任感の育成を図る。

(7) 生徒による自治的な活動を促すために、部長会を中心としてリーダーシップの育成を図り、互いに役割を自覚させ、生徒一人一人の自発的な活動を助長する。

(8) 設備の改善や保護者への情報公開に努め、生徒自らの活動になるように支援する。

３　休養日及び活動時間等

(1) 休養日の設定

学期中は、週あたり２日以上の休養日を設ける（平日１日、週末１日以上）。

(2)活動時間

平日は朝練習を含め２時間程度、週末は３時間程度とする。

(3)週末における大会参加について

年間２０回以内とする（中体連や中文連の大会やコンクールも含む）。

２日間、大会やコンクールに参加した場合、原則月曜日は休養日とする。

４　活動計画

全体活動計画

月	主　　な　　内　　容
4	顧問会議（校内規定の確認、前年度の情報引継、駅伝部の説明） 新入生入部希望調査回収と集計・顧問決定・部活動紹介（生徒会） 新入生仮入部・正式入部・名簿連絡網完成　　練習・練習試合・各種コンクール 部長会議
5	地区春季大会事前指導・地区春季大会
6	県春季大会事前指導・県春季大会
7	地区総体大会事前指導・地区総体大会 県総体大会事前指導・県総体大会・夏季休業中の計画・指導
8	夏季休業中の指導
9	地区新人大会事前指導・地区新人大会 部長会（新部長）
１０	地区駅伝大会 県新人大会事前指導・県新人大会 地区音楽祭・中央祭・学校演劇研究地区大会・県学校演劇祭
１１	県駅伝大会・市駅伝大会
１２	冬季休業中の計画指導・市中学校美術展
1	冬季休業中の指導・各種大会・市理科研究展覧会
2	学校評価（部活動）
3	春季休業中の計画・指導 部活動継続調査（１、２年生）と各部での実態報告 新入生入部希望調査配布